

国際交流・異文化理解促進へ



記念撮影する八戸学院大の水野学長（前列中央）ら。モニター画面内は広西城市職業大の関係者

八学大 中国の大学と連携協定

八戸市の八戸学院大学（水野眞佐夫学長）は23日、中国・南寧市にある広西城市職業大学（李中華学長）と学術交流に関する連携協定を締結した。相互の友好を深め、学生や教員の交流を

八戸

進める。

締結式は両大学をオンラインで結んで実施した。広西城市職業大の羅梅副学長は「グローバル化時代の下、本学も国際交流と異文化理解を重視している。交流がより一層広がることを期待したい」と話した。水野学長は「それぞれの地域課題解決に対して学び合ったり知恵を出し合ったりして、地域を支える人材を育成できれば」と狙いを語った。

協定締結に先駆け、昨年11月には学生たちがオンライン交流を行った。今後は可能になれば対面で交流を行うほか、八戸学院大が日本語堪能な学生を広西城市職業大側から留学で受け入れることなどが想定されている。

広西城市職業大は2005年、中国で最初に設置された四年制の職業技術大。在学者数は3万人で、産学官連携や地域連携を重視し、実学主義を教育理念としている。ロボット技術や国際貿易、日本語などの23学科があり、短期大には53学科がある。

八戸学院大が海外の学校と連携協定を結ぶのは今回で4例目。（白鳥遠）